

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2707	領域略称名	中分子戦略
研究領域名	反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製		
領域代表者名 (所属等)	深瀬 浩一 (大阪大学・理学部・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、反応集積化により、合成の困難な分子、特に生理活性を有する化合物としてポテンシャルが期待される中分子を合成し、その機能開拓を図る研究である。薬理作用を持った複雑な構造の有機中分子化合物を、マイクロリアクターを駆使することでその合成を可能にし、また量産化への道を拓いており、大きな成果であると認められる。1300 編を超える原著論文はこの研究領域においては圧倒的であり、成果の質及び量は十分である。中分子戦略について方法論は示せたが研究領域として何を達成したのか、この点がやや不明確であった。

領域設定期間内には数多くの高機能中分子合成に成功し、また、二つの予想外の展開として「生理活性分子の複合化」と「細胞内合成」があり、将来の波及効果も期待される様々な成果が集積されているため、今後の進展が期待される。